

【第1部】(基本編)

12月6日(木) 物流の基礎と物流をロジスティクスにするための実務
10:00～16:00

- 特徴：物流・ロジスティクス部門で担当している担当者が必要とされる基本知識を確認し、物流をロジスティクスにするための実務を習得します。
- 狙い：①物流・ロジスティクスの基本業務を習得します。
②最新の物流・ロジスティクスの業界情報を入手します。
③参加者同士の意見交換を通して、人脈を広げます。

1. 物流の基礎と物流用語

- ① 物流の基本概念
- ② ロジスティクスとSCM

2. 貨物輸送と配送料金(国内輸送、国際輸送)

- ① チャーター便料金
- ② 混載便「特別積み合わせ便料金」、「宅配便料金」
- ③ 国際輸送「海上便」、「航空便」

3. 物流施設、物流ネットワークと物流拠点

- ① 物流拠点とは
- ② 物流拠点ネットワークと物流拠点の見直し
- ③ 物流施設選定時に確認しなければならない項目

4. 倉庫の中はどうなっているか

- ① 物流センター配置図 一例
- ② 庫内作業

5. マテハン機器(物流機器)の導入

- ① マテハン機器の種類と特性
- ② マテハン機器導入メリットと導入時の注意点

6. 物流システム

- ① 物流情報システム(WMSとTMS)

7. 物流料金と物流コストの実態

- ① 8つの物流料金体系
- ② 他社の物流コストはどのくらいか(世間相場)
- ③ 他社が行っている物流コスト削減策

8. 貨物輸送と配送の改善

- ① 効率的な輸送と配送
- ② 運送事業のコスト構造

9. 保管費用と荷役費用の改善

- ① 物流作業の効率化
- ② ABC分析で保管効率を上げる
- ③ ロケーション管理と動線の見直し

10. 国際物流

- ① フォワーダー/NVOCC/インテグレーター
- ② 貿易取引条件(インコタームズ)
- ③ 輸出の流れ
- ④ 国際物流で使用されている書類

【第2部】(応用編)

12月7日(金) 物流レベルを上げるための2大ポイント
10:00～16:00 ～物流監査と物流の効率化～

- 特徴：物流レベルを上げるため、物流監査スキルと物流の効率化のノウハウを身に付けます。
- 狙い：①物流・ロジスティクスの全般の効率化のポイントをつかみます。
②最新の物流監査ポイントを押え、物流監査の最新動向を理解します。
③事例・ケーススタディを通して、監査対応スキルと物流の効率化ノウハウを学び、実践力を身に付けます。

1. 物流監査

- ① 内部(物流)監査とは
- ② 自社の物流レベルは?
- ③ 物流現場で発生している問題
- ④ 物流監査の視点とテーマ

2. 物流関連法規等

- ① 倉庫業法
- ② 自動車運送関連法
- ③ 独禁法と下請法
- ④ 国際物流関連条約と法律

3. 業務改善視点からの『物流監査』

- ① 物流業務計画と管理の重要性
- ② 物流KPIの設定
- ③ 物流BCP対策
- ④ 物流投資計画
- ⑤ 輸出入関連の監査

4. 物流実態調査

- ① 適正な物流コスト
- ② 物流データとは

5. 物流品質改善

- ① 物流品質の定義
- ② 5S

6. 物流業務効改善

- ① 適正な人員配置
- ② 輸配送管理
- ③ 物流の効率化

7. 在庫管理と在庫圧縮

- ① 在庫と異常在庫
- ② 発注方式の種類と経済的発注量
- ③ 在庫管理



講師紹介

物流・貿易研究所 代表 <http://logi-trading.com>
通関士、ロジスティクス管理2級(JAVADA)、三級海技士(航海)
ジェトロ認定貿易アドバイザー

きむら とおる
木村 徹氏

大手倉庫会社での通関・国際営業・海外引越等の経験、米国系メーカーでのロジスティクスの経験、欧州系物流企業でのサプライチェーン・マネージメントの経験を生かし、日本関税協会、大手商社、JETRO(日本貿易振興機構)、JILS(日本ロジスティクスシステム協会)、SMBCコンサルティング、大学等で物流・貿易・通関に関する講演や講義で活躍している。また、物流・貿易・通関・関税のコンサルタントとして活躍中。

【主な著作】 「速習！重要事項35でマスターする貿易実務」(秀和システム社刊) 2012年12月刊
「いますぐ現場で役立つ物流実務のノウハウ」(秀和システム社刊) 2012年4月刊
「2時間で丸わかり 物流の基本を学ぶ」 (かんき出版刊) 2014年11月刊